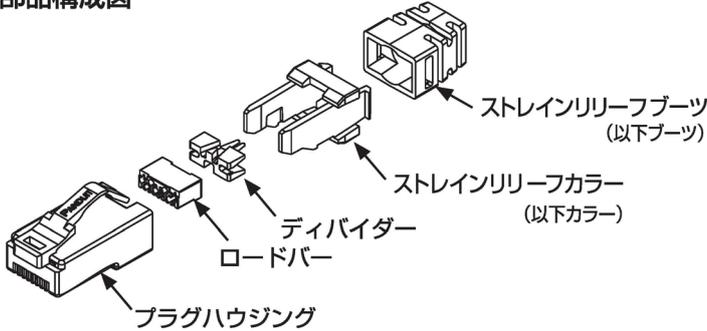


### T568B成端手順

#### 部品構成図



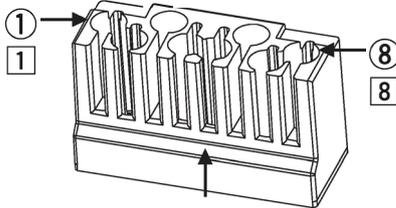
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

#### ■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.10φmm～6.60φmm
- 心線径 AWG23 の単線
- 心線絶縁径最大 1.19 φmm
- T568B 結線は茶色対の対角側が橙色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめのうえ、ご使用ください。  
\*バンドウイット製 Cat6A ケーブル「PUC6AHD04BU-EG」「PUL6AHD04BU-EG」の専用モジュラープラグです。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

#### ロードバー

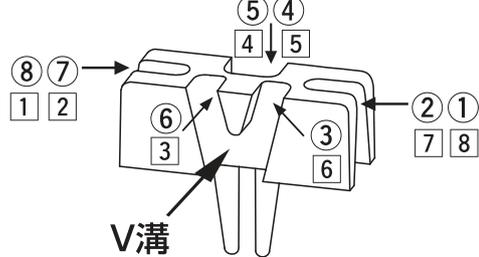
挿入時の向きに注意して下さい



コンタクトが貫通する8個の溝

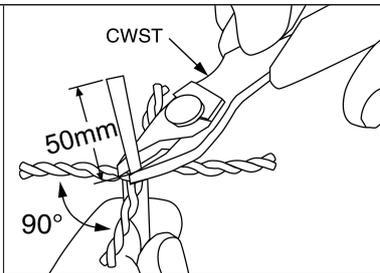
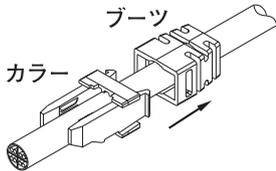
#### ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



V溝

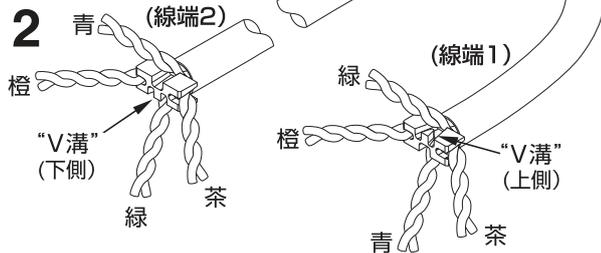
1



#### ◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

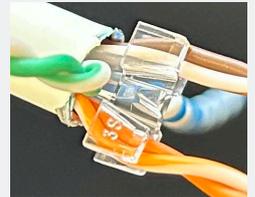
- ◆ケーブル端から 50mm ほど外被覆をむきます。
- ◆AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆各対を左図のように十字に開きます。
- ◆中央の介在物を根元の部分でカットします。

2

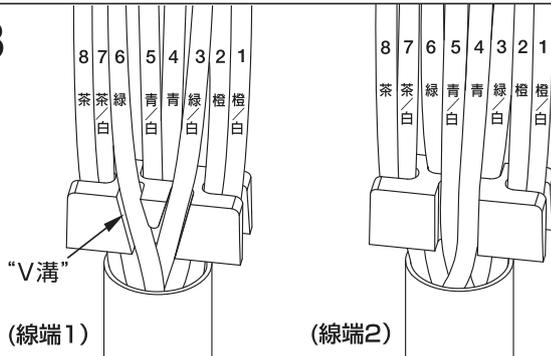


#### ◆ケーブルの両端では構造が異なります。

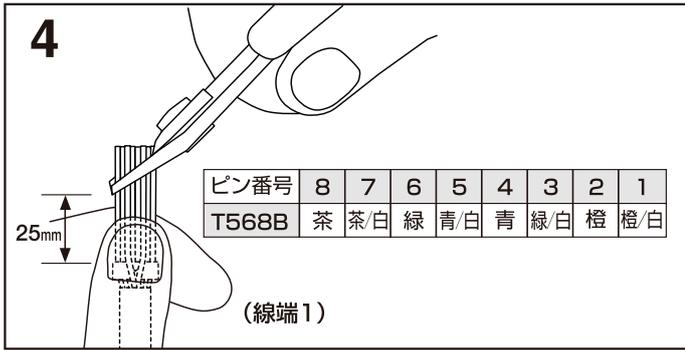
- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝を緑色対に向けて、緑色対に沿うように挿入してください。



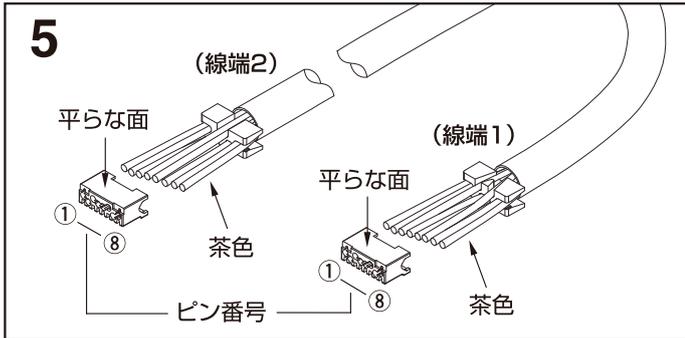
3



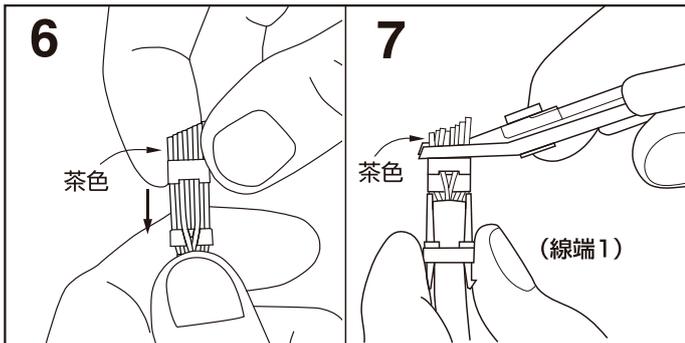
- ◆各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせをします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)



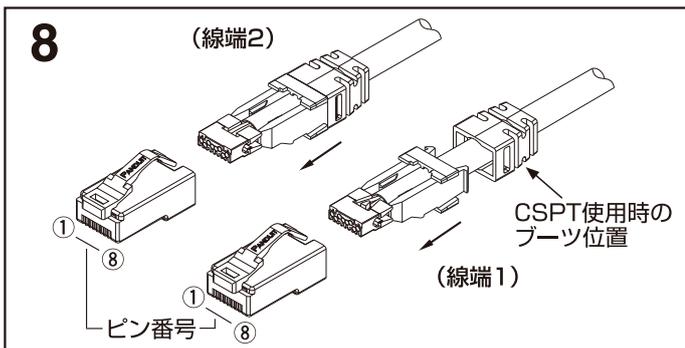
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具があります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないでください。



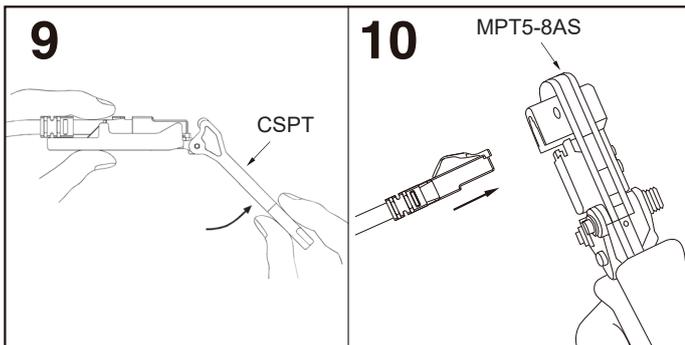
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。



- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



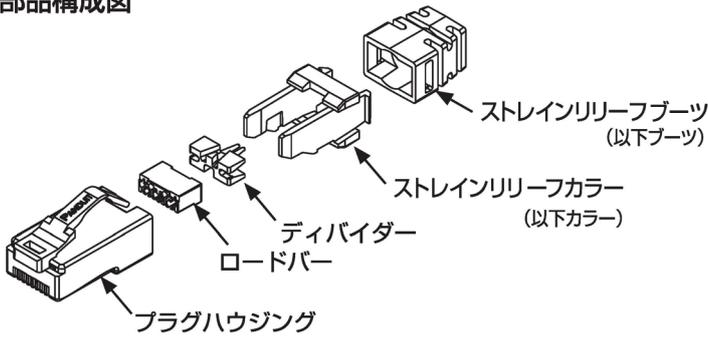
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆ 挿入を補助する CSPT 工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。



- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

# T568A成端手順

## 部品構成図



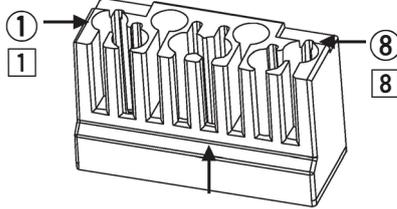
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

### ■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.10φmm～6.60φmm
- 心線径 AWG23 の単線
- 心線絶縁径最大 1.19 φmm
- T568A 結線は茶色対の対角側が緑色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめの上、ご使用ください。
- \*パンドウイト製 Cat6A ケーブル「PUC6AHD04BU-EG」「PUL6AHD04BU-EG」の専用モジュラープラグです。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

### ロードバー

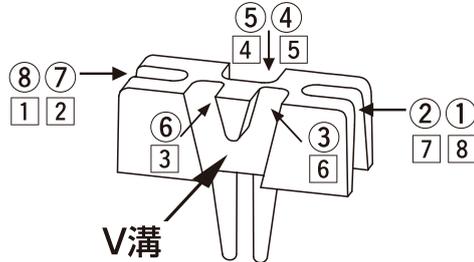
挿入時の向きに注意して下さい



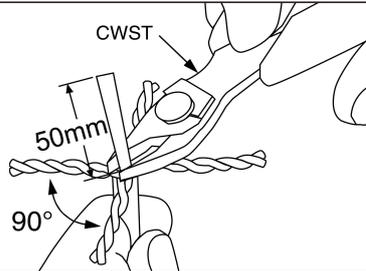
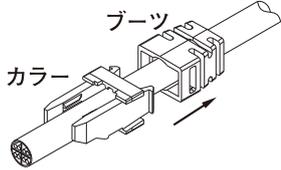
コンタクトが貫通する8個の溝

### ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



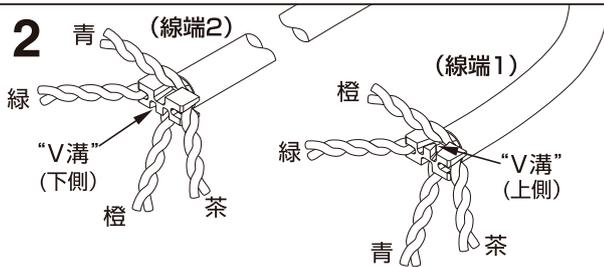
1



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

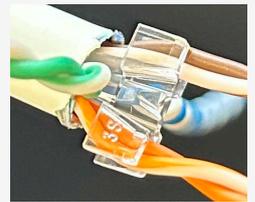
- ◆ケーブル端から 50mm ほど外被覆をむきます。
- ◆AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆各対を左図のように十字に開きます。
- ◆中央の介在物を根元の部分でカットします。

2

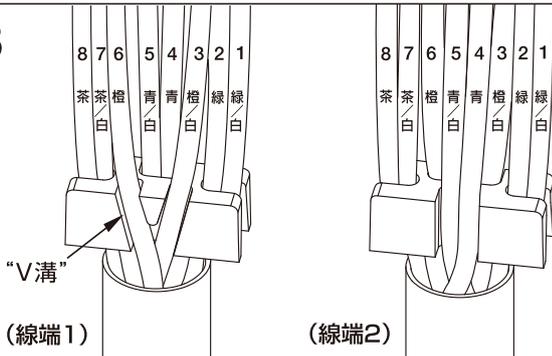


◆ケーブルの両端では構造が異なります。

- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝を緑色対に向けて、緑色対に沿うように挿入してください。

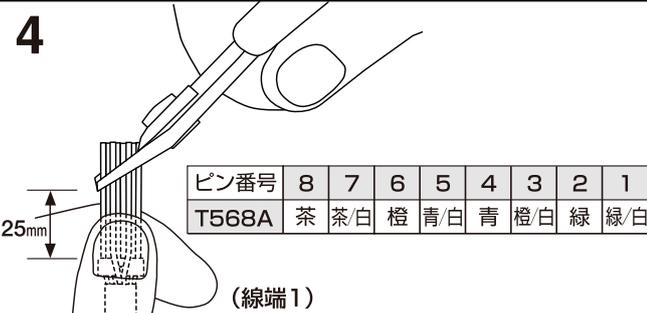


3



- ◆各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせをします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)

### 4

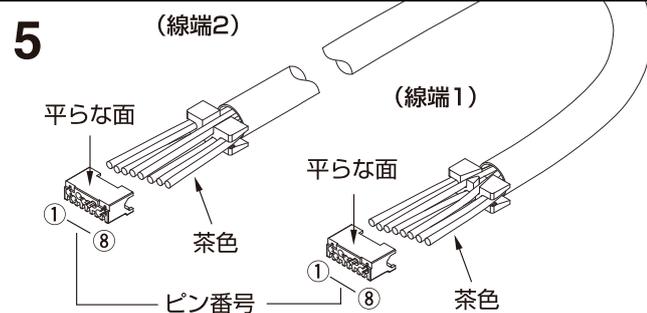


ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青白	青	橙白	緑	緑白

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

### 5



(線端2)

(線端1)

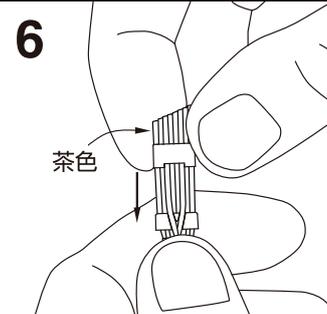
茶色

茶色

ピン番号

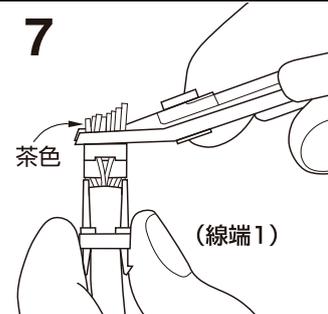
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。

### 6



茶色

### 7

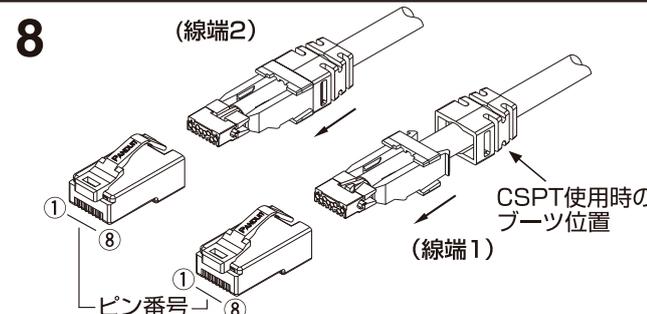


茶色

(線端1)

- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

### 8



(線端2)

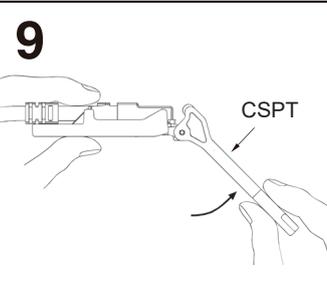
(線端1)

CSPT使用時のブーツ位置

ピン番号

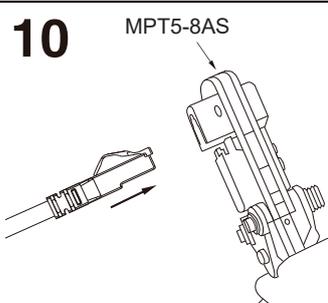
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

### 9



CSPT

### 10



MPT5-8AS

- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。